

例会報告：2013年10月8日（晴れ） 第1817回 通常例会

◆ ビジター

高田 喜好様（米山奨学・米山学友委員長、小田原RC）

◆ ゲスト

Abbyさん（青少年交換学生）

◆ 会員誕生日

安藤 克己さん（10月8日）
大川 誠さん（10月10日）
露木 清勝さん（10月13日）

◆ 結婚記念日

一寸木 信雄さん（10月10日）
土岐 博也さん（10月13日）

◆ 奥様誕生日

本多 清美さん（10月12日）
太田 知栄子さん（10月14日）

◆ ニコニコ箱

上田 博和委員

	ニコニコ箱	累計	目標
10月8日分	43,000	413,600	1,300,000

*ビジター

高田 喜好様（小田原RC）…米山奨学委員会・学友委員会の委員長を担当しています。小田原RCの高田喜好です。本日は学友の王野冬さんと一緒に伺いました。よろしくお願いします。

*会員誕生日

安藤 克己さん…誕生日祝っていただきありがとうございます。
露木 清勝さん…誕生日のお祝いありがとうございます。13日で59才になります。今後共よろしくお願い致します。
大川 誠さん…本日は欠席して大変申し訳ございません。また、誕生日祝を頂きありがとうございます。今後共よろしくお願い致します。

*奥様誕生日

本多 純二さん…家内の誕生日祝ありがとうございます。又、アメを上げなければ！！

太田 忠さん…妻の誕生日祝いありがとうございます。

一寸木 信雄さん…10月10日結婚記念日お祝いありがとうございます。最近はお空のようです・・・。

*その他

清 康夫さん…先月27日～29日迄岩手県に行き、お得意先の実家の山村でヤマメ釣りに行き、とても素晴らしい川でたくさん釣る事が出来、家内も満足しました。大漁にてニコニコへ、そして高田さんようこそ。

河野 秀雄さん…横浜線の踏切事故で亡くなられた村田奈津恵さんのことを思うと自分とは？を考えさせられます。上田君ご苦労様でした。ハワイ行きの方々、クラブの為ご苦労様でした。

菊地義雄・本多純二・中村維孝・太田忠・小川和夫さん…ハワイ、ワイキキRCへ親善訪問して来ました。とてもフランクなクラブで楽しかったです。無事帰国しましたので。

小嶋 章司さん…高田米山奨学・米山学友委員長ようこそ。よろしく御願致します。

柳井 渉さん…本日は、青少年交換学生のAbbyさんが例会に来ています。10月1日から5日まで修学旅行で北海道に行ってきた。サッポロラーメンが美味しかったそうです。

金山 慶昭さん…長女の結婚祝いをいただきありがとうございます。

木村 啓滋さん…高田委員長、王野冬さん、本日はよろしく御願致します。卓話を楽しみにしています。



◆ ◆ ◆ 今後のメーキャップ情報 ◆ ◆ ◆

-2013年10月-

▶ 16日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:大島 武様・東京工芸大学教授
(大島渚監督ご長男)/コミュニケーション学」

▶ 17日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:米山奨学生」

▶ 18日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員担当による卓話」

足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:相澤 光春ガバナー/ガバナー公式訪問」

▶ 21日(月) 小田原 報徳会館 報徳会館 12:30
「卓話:クラブフォーラム」

▶ 22日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話:勝俣 喜陽会員担当」

▶ 23日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:ロータリー財団について」

▶ 24日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:石原 和夫会員/改正税法について」

▶ 25日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員担当による卓話」

足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:社会奉仕委員会担当」

▶ 28日(月) 小田原 報徳会館 報徳会館 12:30
「卓話:新会員自己紹介」

▶ 29日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 18:00
「卓話:夜間例会」

▶ 30日(水) 小田原北 休会
「卓話:」

▶ 31日(木) 小田原中 報徳会館 17:30
「卓話:クラブフォーラム」

-2013年11月-

▶ 1日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員担当による卓話」

足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:ロータリー財団委員会担当」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：金山 慶昭
編集長：久保田 知子
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：小川 和夫・志澤 昌彦

会員数：51名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2013-2014
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
ロン D. バートン
【R.I. 2780地区ガバナー】
相澤 光春
【第9グループガバナー補佐】
井島 誠行



【会長】露木 清勝
【副会長】須賀 俊和
【幹事】金山 慶昭
【副幹事】木村 頼弘
【会場監督】杉崎 勝成

ロータリーを 実践し みんなに 豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

本日の例会：通常例会（第1818回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2013年10月15日 12:30～13:30
司会：木村 頼弘 副幹事

12:30	開会点鐘：露木 清勝会長 ロータリーソング斉唱 「手に手つないで」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：露木清勝会長 卓話：山地 裕昭様(足柄RC)・地区諮問委員 会/指名委員会・PG 「規定審議会について」
13:30	閉会点鐘：露木 清勝 会長

■ Abbyコーナー

修学旅行から無事に帰ってきました！
本人は楽しかったと大喜びでしたが、グループのメンバーに大変迷惑をかけてたようです(；) 勝手に何処かに行ってしまうので、皆さん、精魂疲れ果てて家に帰って来たとか…知らぬは本人だけです(；)。
気晴らしにと、中村夫妻が私たちを食事に誘ってくれました、二人のオヤシギャグ炸裂にアビーも楽しそうでした。
修学旅行の写真、良いのがありませんでした。こんなおちゃらけた写真ですみません(^o^)
木村 綾乃



【今後の例会・卓話スケジュール】

10月22日 通常例会 12:30
担当：上田博和プログラム委員長
卓話：中野 秀光様・bjリーグ代表取締役
「スポーツと地域活用について」

10月29日 休会

11月5日 通常例会 12:30
担当：国際奉仕プロジェクト
卓話：地区担当委員
「友好クラブの調査研究について」
※例会にて細則改正投票を実施いたします。必ず出席して下さい。

11月12日 通常例会 12:30
担当：大谷 宏会員
卓話：小田原職業安定所 脇 直一所長・同 大谷 彰雇用指導官
「雇用安定行政の現状」



2013年 RI2780地区 地区大会
開催日：2013/10/26(土) / 第1日
2013/10/27(日) / 第2日(参加日)
場所：藤沢グランドホテル
藤沢産業センター・藤沢市民会館
＜参加概要＞
平成25年10月27日(日) 登録受付11:30
会場：藤沢市民会館大ホール 本会議12:30点鐘～17:45



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介します！

例会報告：2013年10月8日（晴れ）第1817回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:30

❖ 会長挨拶

露木 清勝 会長
先日、小田原・箱根商工会議所で日本各地のまちづくりで著名な、西郷真理子氏の講演会が開催されました。西郷氏は、(株)まちづくりカンパニー シープネットワークを運営すると同時に、一級建築士であります。また日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー2010にも選ばれるなどその活躍は大変有名です。特に有名なまちづくりの例として次の三つが有名です。ひとつは、埼玉県川

越市の小江戸として有名な歴史的な町並みの保存と地場産業の活性化で一躍有名になった事例。また滋賀県長浜市の黒壁スクエアと言われる黒漆喰の和風建築とガラス細工で脚光を浴た事例。そして香川県高松市の丸亀商店街は昔ながらのアーケード商店街を、イタリアのミラノのガレリアを手本とした高さ三メートルのドームを中心とした再開発で、売上は三倍の30億円、通行量も1.5倍になった事例です。今回の講演会でもこの三つの事例を中心にまちづくりのお話を進められました。

ただ、今回のお話では、ハードの建築物のお話の中で、ソフトである人の部分のお話が少なかったのは残念です。西郷氏の持論は、中心市街地の再生はコミュニティーの構成員である住民が中心になって計画し、その事業を担っていくことにより成功に導けるという事です。例えば、川越の事例は今から30年ほどまえの1980年代の初頭から始まりました。当初は、古い町並みを壊してビルに建て替え、狭い土地を有効利用してこうという意見と、古い蔵の町並みを保存してまちの再生を図ろうという意見が対立したそうです。その住民当事者同士の意見の対立をどの様に調整していったのか？実は一番興味があるところです。また丸亀商店街の事例はテレビ番組の中でも紹介されていて、商店街の店主同士が何度も会議を重ねるたびに、意見の違いから胸ぐらをつかみ合う様な事もあったそうです。これらを乗り越えてそれぞれの成功へと導いた秘訣は何なのか？その答えは、公演終了後の30分間に及んだ質疑応答の時間の中にありました。たしか4人の方が質問に立ちました。一人は、西郷さんと同じ建築家の「建築士と土建屋さんとの関係に関する質問」、また商店街連合会の会長さんの「商店街の事業に参加してくれない事業所に関する質問」、また商工会議所副会頭の「小田原の郊外型の大型商業施設の増加に関する質問」また、不動産業の方から「都市計画法の不備についての質問」とそれぞれに専門的な立場の質問であることと、特に最後の不動産屋さんは質問の内容が長く、司会者から短めにとの注意を受けるほどでした。しかし、西郷さんはこれらの質問に対して、実に良くその質問内容を把握して実的確な答弁をされています。それはご自身の建築家としての知識や、各種国の審議委員会や関係省庁からの情報を的確に入れてのお話は素晴らしいと思いました。

西郷さんのまちづくり成功の秘訣は、この「聞く力」とそれを調整し納得させる力にあると思いました。

❖ 幹事報告



金山 慶昭 幹事

- 1)親睦活動委員会の委員長代行を菊地義雄氏になっていただくことになりました。本日早速忘年家族会に向けて委員会を開催していただきます。
- 2)次週例会日前日の14日は体育の日で祭日になりますので欠席のご連絡は早目をお願いいたします。

❖ 委員会報告

長期計画策定委員会・小嶋委員長

CLPの導入から3年。地区との整合性や組織の重複などいろいろ規約を変えたいところがあり、委員会としての案が出ました。大きく変わるところは職業奉仕委員会の発足です。もう一つ、原則として理事の方には必ず委員長をやっていたかと思いますが、規則では郵送となっていますが、可能な方はお持ち帰りください。

国際奉仕プロジェクト・菊地委員

10/1～5、ハワイのワイキキRCに行ってきました。詳しくはお土産と共に来週お話しします。ワイキキRCは一番賑やかなビーチそばのホテルでやっていて、メンバーは70名くらいです。例会で新鮮に感じたのは、会員同士が会話のやり取りをするうまさ。勉強になったし、各地の方々にご挨拶できて楽しい経験となりました。また、親睦委員長の代行をお受けすることになりました。初めての経験ですが「頼まれたらやる」の精神で承知しました。原点に帰ってお茶汲みからやりたいと思いますので、よろしくお願い致します。

❖ 出席報告

大木 清 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
10月8日	50(46)	39	0	84.78%
10月1日	50(45)	37	0	88.89%
9月24日	51(46)	37	2	86.96%

- 【欠席者】 7名
中村 維孝、大川 誠、志澤 昌彦、石橋 徹、西 寛、高橋 哲也、石内 正彦
【今回MU】 0名
【前回MU】 3名
清 康夫 (9/26 小田原北RC)
石崎 孝 (10/3 小田原中RC)
菊地 義雄 (10/2 ハワイ・ワイキキRC)
【前々回MU】 0名

❖ Table Flower

- カンガルポー
 - ガーベラ
 - りんどう
 - ソリダコ
- カンガルポーの花言葉は「不思議」
ガーベラの花言葉は「希望」「辛抱強さ」
りんどうの花言葉は「誠実」「正義」



❖ 卓話

「私の生い立ちと米山奨学生となった自分」



**米山奨学生
王 軫冬 (おう たんと) 様**

私は2012年度のロータリー米山奨学生の王軫冬 (おうたんと) です。今年の10月から秋入学で東海大学文学研究科コミュニケーション専攻の修士2年になりました。また、今年度のロータリー米山学友会の会計も担当しております。

私は中国出身で日本に来て6年目になります。私が日本に来たきっかけはアニメでした。子供の頃から絵を描くのが好きで、日本に住んでいる伯父が日本のアニメや漫画をたくさん紹介してくれました。ジブリの「となりのトトロ」や漫画「夏目友人帳」など。「ワンピース」は今も中国の若者たちに一番人気の漫画です。それらの作品を見たり読んだりすることで、日本の文化や日本語に対する興味を持ちました。最初はアニメを見るだけでしたが、他のバラエティ番組や広告などにも興味を持ち、中国政府からコントロールされているマスコミ・テレビ番組と比べたら内容豊富で面白いことに感激しました。そんな単純な理由で、18歳でアニメ大国の日本に来たのです。

大学は東海大学の文学部広報メディア学科に入学し、メディア専攻を履修しました。4年の時にロータリー米山奨学会と出会います。日本に留学し親はそばにいませんでしたが、ロータリーの皆様が温かく対応してくださり、奨学金だけでなく心の絆もいただきました。またロータリーの交流活動で、留学生の自分は国と国の架け橋であることを強く意識し、母国と日本の友好交流に貢献したいと感じました。

最近、中国と日本の政治問題や悪い報道がたくさん見られます。そこで中国のマスコミ状況について少し説明します。日本は民主主義国でマスコミは国民の意思を伝える機関ですが、中国ではテレビ局は政府機関の一つです。国内でもマスコミが真実を伝えていない、間違った情報が多いといった意見は出ています。新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどマスコミは政府の指示に従って情報を発信していますので、誤解や理解不足が出てまいります。私個人としては留学生など一人一人の交流が相互理解を深められたら幸いと思っています。

中国の若い人たちは日本のファッション誌やアニメや漫画が本当に大好きで、日本に旅行する人も増えました。相手の国に行くと素晴らしいところを感じて理解を深めてほしいです。異文化交流として日本で感心したのは「政治は政治、国民は国民」という交流の仕方と、個人個人で積極的に参加することで

す。国のイメージで固めず、心を込めて目の前の相手と交流することが大切だと思いました。

情報発信と今のメディアについて。情報には色々な形があり、メディアを通じて届け、広げます。メディア機能の差異によって効果も異なります。メディアを活用して人々が情報を受け入れる受容の過程は7つのフェイズ (段階) に表せます。1.L (listen傾聴)、2.A (attention知識獲得)、3.I (interest関心惹起)、4.S (search検索誘導)、5.L (landing着地点整備)、6.A (action行動促進)、その6つに、+S (share共有) でもっと広げる形になります。対象者が情報を確認して関心を持ち魅力を感じて、もっと詳しく検索させ正しい情報を提供し、その感想やコメントをさらに再発信してシェアすることで行動喚起ができます。

技術の発展に従ってメディア機能も大きく変化しました。例えばファッションは、1970～80年代は雑誌が中心メディアでしたが、デジタルマルチメディアになった現代では多様な表現があります。

中国は日本の経済を追いかけている側面があり、一方日本と同じスピードでインターネット時代に入っているという見方もあります。中国は日本の情報発信やメディアのあり方を参考にしなければいけないと思います。私が新しいソーシャルメディアで注目しているのはFacebookです。日本でのサービス開始が遅かったのが最初は利用者数が少なかったのですが、今では登録者数は1千万人を突破しさらに増大し続けています。SNSの特性として、多くの人々が興味を簡単に共有し、誰でも発信することができます。その情報は自分の知りあいが発信しているということ

で、より興味を呼び起こし親近感を持つことができます。SNSを活かして広告を発信することはとても便利で役立つと思います。昨年ロータリーの関係で小学校の中国語講師となり、日本の子供たちに中国の文化や言葉を伝えることができました。距離感を感じることもなく楽しく勉強する子供たちの素直な表情を見て感動しました。とても良い経験を積むことができました。日本語で一番印象深かった「一期一会」と「ありがとう」を胸に、ロータリアンと奨学生の間でも、国と国との間でも、民族と民族の間でも、一期一会と感謝の気持ちは最も大切であると

感じています。ロータリー米山奨学会のおかげで心豊かな留学生を送れ、本当に感謝しております。

